

関西広域産業共創プラットフォーム News Letter

2023(令和5)年
9月末発行

● 広域的プロジェクト組成に向けた調査・企画事業の進捗状況について

社会課題の解決に寄与するような関西発の新たな製品・サービスの創出をめざし、シーズ（研究成果）や企業ニーズの発掘に取り組み、集約した情報の中から、域内公設試にもご参加いただくことを目指して今後の事業化を目指して取り組んでいる本事業については、リンカーズ(株)に受託し、広域PFと緊密に連携しながら取り組んでおります。

現在、同社が集約した脱炭素に関連するディーブテック、LIB電池向け製品をはじめとする8件の案件を候補とし、同社と広域PFの連携コーディネーターとともに、詳細ヒアリングを計画しているところです。

また、兵庫県立工業技術センターのシーズである「クロムめっきの弱点である脆さをNi-Wめっき被膜で克服した最軽量化技術」については、同社がシーズに興味のある企業を発掘し、面談等の調整中です。

今後も同社のノウハウ・強みを活かしてマッチングを企画していく予定としていることから、紹介したいシーズがおりの場合、お気軽にPF事務局までご連絡ください。



高強度Ni-W合金を被覆した軽量三徳バール

リンカーズ(株)ご担当者様ご寄稿

受託企業であるリンカーズの取り組みのご紹介～「ビジネスマッチングで関西を、そして日本を元気にする」～

当社は2014年の事業開始以来、企業が持つ技術シーズやニーズを丁寧に掘り出しながらそれらのベストマッチングを行って新たなビジネスを創出したり、既存ビジネスの価値向上を行うことをサポートしてまいりました。これによって、現在では500社以上の大手企業を中心としたサービスユーザー、ものづくり業界の研究者・開発者を中心とした30,000名以上のネットワークを構築することができました。これらのネットワークをデータベース化し、迅速かつリアルタイムに活用することで、我が国全体のイノベーション創出に貢献したいと願っております。

今般、関西広域産業共創プラットフォームに参画することができましたので、連携されている公設試の皆様と一緒に、関西経済の発展に資するイノベーションを起こしていきたいと思っております。当事業を支えていただいている皆様のご支援、ご指導をよろしくお祈り致します。

【会社HP】 <https://corp.linkers.net/>

	サービス	概要	アウトプット	期間目安
知見の取り込み インバウンド	技術動向調査 Linkers Research	✓ 特許・論文、Webメディア情報等を収集・整理しレポートを作成	✓ 技術や企業のログリスト ✓ 調査内容の分析レポート	1.5～2か月
	パートナー探索 Linkers Sourcing	✓ 「企業、大学/研究機関、専門家」とのマッチングをサポート	✓ 案件シート(募集要項) ✓ 候補リスト(会社情報、質問回答) ✓ 面談調整	2～4か月
保有技術の外部への提案 アウトバウンド	提案先・用途アイデア Linkers Application Search	✓ 提案先候補の調査や技術の用途アイデア出しをご支援	✓ 用途アイデアリスト ✓ 提案候補先リスト ✓ 用途調査結果リスト いすれか	1～1.5か月
	技術マーケティング Linkers Marketing	✓ 貴社技術の提案を行い、高談の機会を創出	✓ 技術紹介シート、パンフレット ✓ 提案先リストと提案結果 ✓ 面談調整	4か月
	ウェビナー開催 TechMesse Academy	✓ WEBセミナーで幅広い企業への貴社取組・技術・製品PRを支援	✓ ウェビナーの案内ページ作成 ✓ 告知の配信、登録案内(集客) ✓ 申込者リスト、アンケート結果	2～3か月

サービス一覧（技術を軸とし「ものづくり業界」でのマッチングを支援）

～事務局便り～

当PF事業を支えて頂いている皆様に、この紙面をお借りして感謝申し上げます。

昨年11月の事業開始以来、「小さな相談、大きなチャンス」をモットーに、「開発現場力」と「集団脳」を武器として活動してまいりました。おかげさまで多数の技術相談を頂戴し、関係者一同喜んでおります。PF事業体制構築のため、域内公設試の連携強化、コーディネーターメンバーの充実に加え、全国25名の有識者の先生方に知恵袋としてアドバイザーにご就任頂きました。また7月からは、ビジネスマッチングで実績のある、上記でご紹介している(株)リンカーズにも参画してもらっています。

一定の体制が形成されるに伴い、各種情報をビットに共有することが益々重要になってきております。そのため、今般「ニュースレター」という共有媒体を新たに作り、PF内での活動（各種発表会、展示会、セミナーなど）や域内公設試発の情報（新たな設備導入情報等）、その他多様な情報を毎月末に発信したいと思います（事務局まで情報をお寄せ下さい）。

皆様の業務発展に当ニュースレターを是非ご活用頂ければ幸いです。

●ガスクロマトグラフ四重極飛行時間型質量分析計を導入

(大阪産業技術研究所・和泉センター)

本装置は、ガスクロマトグラフ質量分析計に、加熱脱着導入式オートサンプラーおよび分取機能付におい嗅ぎ検出器を組み込み、各種試料の「におい」に関する定性・定量分析など、「におい」に係る総合的評価を実現します。異臭分析では、ライブラリ検索によるにおい物質名の推定と主成分分析を組み合わせてることにより、正常品および異臭品のおいの違いを明らかにします。また、足蒸れ臭、加齢臭、およびカビ臭などの悪臭物質に対する消臭性能評価も可能です。

【利用対象】食品、日用品、水、プラスチック、消臭剤、芳香剤など



以下「大阪技術研テクレポート令和4年度」23ページにも掲載しています。
https://orist.jp/content/files/pdf/technoreport/technoreport_2022.pdf

●促進耐候性試験機を導入

(京都市産業技術研究所)

太陽光・温度・湿度・降雨などの屋外の条件を再現して、モノの劣化を促進させ、いち早く材料・製品の寿命を予測することができる試験機を導入しました。

屋外使用の製品の開発にあたり、使用期限を事前に調べることで、開発した製品の信頼性が高まります。この機会は太陽光に極めて類似した光源を使用するので正確性が高く、自然に起こる経年劣化の数倍～30倍の速さでデータが手に入るものです。



以下「産技研magazine」
(創刊号／9ページにも掲載しています。)

http://tc-kyoto.or.jp/app/uploads/2023/09/magazine_vol01_202306.pdf

●高感度振動試料型磁力計を導入

(兵庫県立工業技術センター)

金属、セラミックス、高分子材料など種々の材料の磁化特性（初磁化曲線、減磁曲線、ヒステリシスループの測定）を評価するための高感度振動試料型磁力計（TM-VSM211483-HGC, (株)玉川製作所）を導入しました。本装置は、通常の磁石に対しては反応を示さないような、小さな磁化特性を、低温から高温まで温度を変化させながら高感度で評価することができます。



R4年度JKA補助事業で導入

機器の詳細については以下をご参照ください。
<https://www.hyogo-kq.jp/kiki/item2545>

●高速液体クロマトグラフ(HPLC)を導入

(京都府中小企業技術センター)

高速液体クロマトグラフィーとは、液体移動相をポンプによって加圧してカラムを通過させ、分析種を固定相及び移動相との相互作用の差を利用して高性能に分離して検出する方法です。分析の目的、測定物質、カラムの種類、移動相の組成、検出器の選択など分析条件を詳細に決定した上での測定が必要になりますが、製品の検査や開発などに幅広くご利用いただける装置です。



詳細は以下HPをご覧ください。
<https://www.kptc.jp/kiki/545/>